

# ● 野外実験の過程・目的：魚類学会「放流ガイドライン」に準拠

## ■ 課題

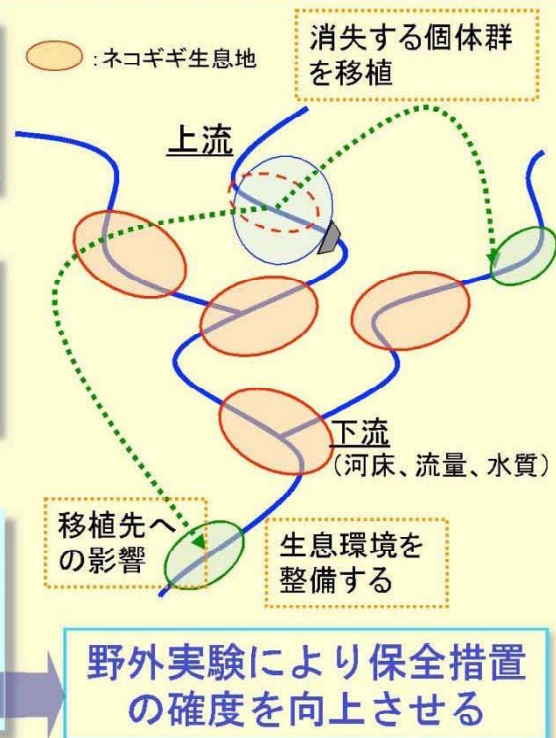
設楽ダム建設により、豊川上流部のネコギギ生息地の一部が消失

## ■ ネコギギの保全措置の一つ

- a. 生息地が消失する個体群を移植
- b. 生息環境を整備する

## ■ 野外実験の目的

- 移植・環境整備事例の精度向上
- a. 豊川における移植の有効性の可否
  - b. 環境整備し、ネコギギの利用を確認



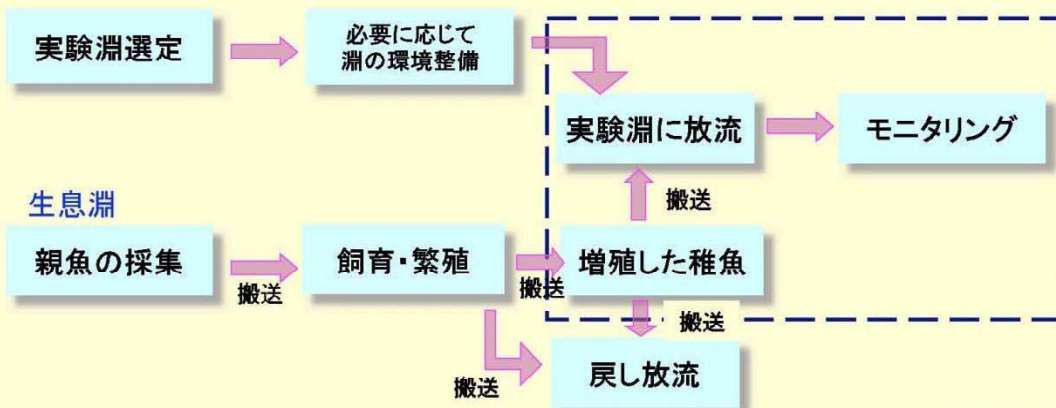
国交省資料改変

# ● 野外実験の概要

## ■ 野外実験の概要

- ① 生息に適する淵、生息に必要な環境を明らかにし、どこに新しい集団を作るか、どのように生息環境を整備するかを決定
- ② ネコギギが生息する淵から親魚を採集し、繁殖・飼育→増殖→放流を行う
  - ・ネコギギはふ化直後の死亡率が高いので、その時期を人為環境下でコントロールし、自然下では死んでしまう分を放流する
- ③ 定着するかどうかをモニタリング

自然集団に負荷を与えない配慮



国交省資料改変